

# 栽培・防除日誌

生産者情報					圃場情報	
作物名	品種名(主)	支店	生産者コード	生産者氏名	圃場合計面積	
夏ねぎ					a	
7~9月出荷						

指 導 員 確 認	①	②	③
	月 日	月 日	月 日
	印	印	印

作業工程					
作業工程	計画	実施日	作業名	計画	実施日
播種	2月上旬~下旬	月 日	土寄せ	6月中旬(1回目)	月 日
定植	4月中旬~5月上旬	月 日	土寄せ	6月下旬(2回目)	月 日
収穫開始	8月上旬	月 日	土寄せ	7月中旬(3回目)	月 日
収穫終了	9月下旬	月 日	土寄せ	7月下旬(4回目)	月 日
		月 日			月 日
		月 日			月 日

投入資材(農薬を除く)								
施肥日	コード	施肥量		施肥日	コード	施肥量		施肥日
月 日		kg		月 日		kg		月 日
月 日		kg		月 日		kg		月 日
月 日		kg		月 日		kg		月 日
月 日		kg		月 日		kg		月 日
月 日		kg		月 日		kg		月 日
月 日		kg		月 日		kg		月 日
月 日		kg		月 日		kg		月 日

資材情報(農薬を除く)							
コード	資材名	コード	資材名	コード	資材名	コード	資材名
01	自家堆肥( )	6	苦土石灰	11	過りん酸石灰(粒・粉)	16	野菜追肥専用S646
02	土っ恋しょ	7	BM苦土重焼燐	12	硫酸加里	17	PSダッシュMEネオ
03	ヒナイドリーム	8	苦土重焼燐	13	パワフルねぎ	18	トップスコア・リン
04	宝島(ペレットけいふん)	9	BMようりん	14	ネギ専用	19	
05	石灰窒素(粒)	10	ようりん(砂・粒)	15	CDUたまご化成555	20	

分類	薬剤名	倍率	最大散布量(10a)	対象病害名							使用時期(収穫前)	使用回数	成分分類	施用記録					記入例 6/10 300%
				ネギ	ネギ	タマ	タマ	ネギ	ネギ	シロイ				上段 散布日		下段 散布量			
				アザミウマ	ハモグリバエ	ネギバエ	ネギバエ	ダニ	コガ	モジヨトウ				1回	2回	3回	4回	5回	
4A	スタークル顆粒水溶剤	50	0.50/枚	●	●		●			●	定植前日~定植時	1	注1	/	/	/			
		2,000	300	●								収-3日		2	/	/	/		
		400	0.40/m <sup>2</sup> 株元灌注	●	●							生育期但し、収-14日		1	/	/	/	/	/
4A	ダントツ粒剤	3~6kg/10a	株元散布	●	●						収-3日	4	注2	/	/	/	/	/	
		6kg/10a	植溝処理土壌混和									植付時		1	/	/	/	/	/
1B	ダイアジノン乳剤40	1,000	300						●		収-21日	2	2	/	/				
		700~1,200		●															
		1,000~2,000			●														
		700				●													
15	アタブロン乳剤	2,000	300	●					●	収-21日	3	3	/	/	/	/	/		
1B	マラソン乳剤	2,000~3,000	300	●							収-7日	6	6	/	/	/	/	/	
		1,000			●														
3A	アグロスリン乳剤	2,000	300	●	●				●		収-7日	5	5	/	/	/	/	/	
		1,000								●									
3A	アディオソ乳剤	3,000	300	●					●		収-7日	3	3	/	/	/	/	/	
		2,000								●									
4A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000	300	●						収-7日	3	注3	/	/	/	/	/		
4A	ダントツ水溶剤	2,000~4,000	300	●	●					収-3日	4	注2	/	/	/	/	/		
5	ディアナSC	2,500~5,000	300	●	●				●	●	収-前日	2	2	/	/	/	/	/	

注1: 播種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内  
 注2: クロチアニジン4回以内(定植時までは1回以内) 注3: 播種時の土壌混和は1回以内、植え付け時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計1回以内

# 栽培・防除日誌

生産者情報					圃場情報
作物名	品種名(主)	支店	生産者コード	生産者氏名	圃場合計面積
夏ねぎ 7~9月出荷					a

分類	薬剤名	倍率	最大散布量(10a)	対象病害名					使用時期(収穫前)	使用回数	成分分類	施用記録					記入例 6/10 3000
				べと病	さび病	黒斑病	小菌核病	その他				1回	2回	3回	4回	5回	
				上段 散布日 下段 散布量													
1	トップジンM水和剤	1,000	300				●		収-7日	3		/	/	/			
		250	苗床灌注 10/枚				●		定植直前	1	注4	/	/	/			
		20(3分)	苗根部 浸漬				●	萎凋病									
		200(30分)					●										
1	ベンレート水和剤	500(30分)	苗根部 浸漬				●	萎凋病	定植直前	1	注5	/	/				
		100~200(5分)					●										
		1,000~2,000倍	300				●		収-30日								
		500	苗床灌注 0.5l/枚				●		定植前				/	/			
M3	ジマンダイセン水和剤	600	300	●	●	●		収-14日	3	イ	/	/	/	/	/		
4 M3	リドミルゴールドMZ	1,000	300	●				収-14日	3	イキ	/	/	/	/	/		
3 M3	テーク水和剤	600	300	●	●	●	葉枯病	収-14日	3	イウ	/	/	/	/	/		
3	モンガリット粒剤	4~6kg/10a	株元散布				白絹病	土寄せ時 収-14日	3	ウ	/	/	/	/	/		
3	ラー水和水剤	2,000	300		●			収-7日	3	3	/	/	/	/	/		
3	オンリーワンフロアブル	1,000	300		●	●		収-14日	3	3	/	/	/	/	/		
M5	ダコニール1000	1,000	300	●	●	●	●	葉枯病	収-14日	3	4	/	/	/	/	/	
		500	土壌灌注 0.5l/m <sup>2</sup>	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	出芽揃い後 (出芽3日後から10日後まで)					1	注6	/	/	/	/	/	

注4:種子への処理は1回以内、苗根部浸漬及び苗床灌注は合計1回内、散布及び株元散布は合計3回以内  
 注5:種子粉衣は1回以内、苗根部浸漬及び灌注は合計1回以内、散布は1回以内  
 イ:マンゼブ(3回以内) ウ:シメコナゾール(3回以内(播種時は1回以内))  
 キ:メタラキシル及びメタラキシルM(5回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内、散布は3回以内))  
 注6:土壌灌注は1回以内、散布は3回以内

分類	薬剤名	倍率	最大散布量(10a)	対象病害名					使用時期(収穫前)	使用回数	成分分類	施用記録					記入例 6/10 3000
				べと病	さび病	黒斑病	小菌核病	その他				1回	2回	3回	4回	5回	
				上段 散布日 下段 散布量													
11	アミスター20フロアブル	2,000	300	●	●	●		葉枯病 黄斑病	収-3日	4	4	/	/	/	/	/	
11	ストロビーフロアブル	2,000	300		●	●		黄斑病	収-7日	3	3	/	/	/	/	/	
P7	アリエッティ水和剤	800	300	●				疫病	収-3日	3	3	/	/	/	/	/	
40	レーバスフロアブル	2,000	300	●					収-7日	2	2	/	/	/	/	/	
E	プロポーズ顆粒水和剤	1,000	300	●				葉枯病	収-14日	3	3	/	/	/	/	/	
2	ロブラール水和剤	1,000~1,500	300			●	●	ボトリチス 葉枯病	収-14日	3	3	/	/	/	/	/	
		500	0.5~10/m <sup>2</sup> 株元灌注				●					/	/	/	/	/	
		500~1,000	10/m <sup>2</sup> 株元灌注					白絹病				/	/	/	/	/	
P2	オリゼメート粒剤	6kg/10a	株元散布					軟腐病	土寄せ時 収-30日	2	2	/	/	/	/	/	
31	スターナ水和剤	2,000	300					軟腐病	収-7日	3	3	/	/	/	/	/	
M1	ヨネボン水和剤	500	300	●	●	●		軟腐病	収-7日	4	4	/	/	/	/	/	
7	パレード20フロアブル	2,000~4,000	300		●	●			収-前日	3	3	/	/	/	/	/	
11	メジャーフロアブル	2,000	300	●	●	●			収-前日	3	3	/	/	/	/	/	
												/	/	/	/	/	
												/	/	/	/	/	